

～コレクションを活用保存し、次世代に～ 三重県立美術館の活動にご支援ください

寄附金控除の対象になります

三重県立美術館は、「コレクションの充実、保護ならびにその研究の深化に努め、来たる世代にその意義を伝えていきます」という活動指針を掲げています。コレクションは美術館で展示する他、国内外の美術館への貸し出しやウェブサイトでの公開もしています。一方で、保存に努め、計画的な修復もおこなっています。

コレクションには、恒久的に屋外に設置される屋外彫刻もあります。展示室に入ることなく鑑賞できる屋外彫刻は、美術館の顔ともいえる存在です。専門家による作品保全を定期的におこなうことで、安全性を確認し、劣化を抑えることができます。県内外の来館者、そして次世代の子どもたちにその魅力を伝えていくため、《ジュリアとミレトの乗った大きな一輪車》と《作品91》の保全をおこないます。



ジャコモ・マンズー (1908-1991)
《ジュリアとミレトの乗った大きな一輪車》
1973年 ブロンズ 200×450×125cm 百五銀行寄贈

マンズーは20世紀イタリアを代表する彫刻家の一人。この作品は、三重県立美術館が初めて収蔵した彫刻作品で、開館時より中庭に設置され、美術館の目玉作品として話題となった記念すべき1点です。定期的な清掃では軽減できないしみや汚れの処置を予定しています。

©SIAE,Roma&JASPAR, Tokyo, 2024 E5694



ただみなみ
多田美波 (1924-2014)
《作品91》
1991年 ステンレス・スチール 196×182×267cm

多田美波は、日本各地に設置された多くの公共的な作品で知られています。この作品は、1991年に当館で開催した「多田美波展」に際し、美術館正面玄関前を設置場所に想定して制作されました。周囲の風景や鑑賞者自身の姿を作品に取り込む人気の作品です。手指などが触れることで変色し、細かい傷がみられるため、修復処置を行う予定です。

寄附のお申し込み、詳細は、

募集期間：令和6年9月3日(火) 9時～12月3日(火) 17時
目標金額：1,200,000円

* 目標に達しなかった場合も、ご寄附いただいた金額を屋外彫刻保全に使わせていただきます。目標を超える寄附をいただいた場合は、他所蔵作品の保全に活用し、ウェブサイトにてご報告します。



お問合せ・申し込み

本事業、寄附のお申し込みに関すること
三重県環境生活部文化振興課 TEL 059-224-2233 FAX 059-224-2408

美術館および作品保全に関すること
三重県立美術館 TEL 059-227-2100 FAX 059-223-0570